No.３１３４

山形県と宮城県にまたがる船形連峰へ
船形山・泉ケ岳

実施日　2023年10月15日(日)～17日(火)
天　候　曇り一時雨晴れ・晴れ
リーダー　峯川　弘子
参加者　宇野輝代、峯川弘子　計2名
費　用　JR新幹線往復14,780円（東京駅起算）レンタカー(含ｶﾞｿﾘﾝ代)19,954円　宿泊15,000円(2泊)
タイム　10/16 旗坂ｷｬﾝﾌﾟ場(6:45)鳴清水(8:19)三光の宮(9:16)蛇ヶ岳分岐(9:58)千畳敷(11:28)船形山山頂(11:50-12:00)千畳敷(12:10-12:35)蛇ヶ岳分岐(13:32)瓶石沢(14:16)登山口(16:45)
10/17 泉岳自然ふれあい館大駐車場(8:10)滑降コース入口(8:30)お別れ峠(9:17)水神(9:40)泉ヶ岳山頂(10:56-11:40)お別れ峠(12:41)登山口(13:20)仙台駅14:40ﾚﾝﾀｶｰ返却(15:23発･JRやまびこ)帰京

10/15　仙台駅は雨、レンタカーで黒川郡大和町のホテルルートイン まで約1時間。大浴場につかり今日は１階にあるレストランが定休日なのですぐそばの店で夕食。２日間滞在で部屋掃除はいいですと言うと缶ビール＆飲料3本のサービス、ロビーのコーヒーは24時間飲み放題、なんかめっちゃ嬉しい(笑)
10/16　雨はやんで少し薄日も出てきた。今日はロングコース、各自部屋で朝食をすませ出発。舗装路約37分、旗坂登山口に到着すると横浜ナンバーの車が1台、ご夫婦が支度をしていた。
挨拶をして、雲に覆われてスッキリしない中、標識番号30からスタート、山頂が1だとすると先は長そ～。
スタートはしばらく樹林帯の歩きやすい道、サクサクと1時間ほど進むと雨が降ってきた、濡れないのでさらに進むと雨足が強くなりレインウエアを着込む、が、足が止まる。撤退か？2人で思案、もう少し進んで雨がやまなければ撤退しようということでテンションも低めで進む。時々、先

行したご夫婦の笛の音が聞こえる、熊？ビビりながら樹林帯を抜ける頃、薄日がさしてきた！え？もしかして行けちゃう？三光の宮に着く頃には青空が広がりそこから見事な紅葉が始まった。そして蛇ヶ岳分岐、山頂への周回路だ。でも直近のヤマレコでは背丈ほどのヤブ漕ぎを強いられるとの情報なので計画通り升沢小屋を通るコースへ進む。

渡渉をして20分ほどできれいな避難小屋に到着、小屋を通過後それは始まった。
泥々ぐちゃぐちゃの道、急な沢登りが続く、ここ数日の仙台は雨続きで水流も強い、またか～、

なんだか最近こんなところばかり歩いてるような気がする(笑)でもこの沢の苔むした岩は思うほど滑らない。が、やはり時間はとられる。下山は滑ってもっと時間がかかるかも、そんなことを話しながらようやく沢を抜け、山腹に広がる見事な紅葉に感嘆しながら尾根分岐へ到着。風が強い、登山道の左下方で草刈り機の音が聞こえてきた、他に人がいることがわかってちょっと安心。前方右上に山頂避難小屋が見えた、あと20分、先行したご夫婦が下山してきた。沢コースで下山するかたずねると「いや、危ないから蛇ヶ岳周回で下山する。」「ひどいヤブ漕ぎとか？」と私、「途中地元の方に会って下山するまでに草を刈ってお

くからと言ってくれてたよ！」「貴重な情報ありがとうございます！」2人で大喜び(笑)そして標識番号1、山頂、わっしょーい！霞んではいるが遠くに飯豊？蔵王？、名だたる東北の峰々、ゆっくりしたい山頂だがさらに強風で寒い。

避難小屋に入るとまったりし過ぎて時間も押す、少し下って風を回避できるところで大休止で昼食。体も腹も温まり出発、下山は沢を避けられる蛇ヶ岳周回コースへ。山腹を覆う紅葉を満喫しながら刈り取られたばかりの熊笹で歩きにくい絨毯と青い匂いと共に蛇ヶ岳山頂。船形連峰の全容が見渡せる、いい山だ。下山は沢を避けられても、泥と水でジャブジャブの草原、熊笹と粘土質で滑りやすい傾斜を冷や汗で下降。前方に草刈り機の音はするが人影は見えないまま登山口へ到着。気が付くと2人ともレインウエアのパンツと靴がもう泥まみれ、早朝から約10時間、お疲れ様でした。

10/17　無料の朝食ビュッフェを食べゆっくり出発。30分程で泉岳自然ふれあい館大駐車場に到着、昨日とはうって代わって広大なレジャー施設だ。スキーゲレンデとリフトが見える、ヤマップで、計画した時短コース登山口を確認するとゲレンデ方向、いやな予感。登山届BOXの前で2名の中年男性2人、コースを伺うと、1人は仙台出身の方で数か所ある各コースの詳細を親切に教えて頂いた。どこからでも山頂まで約2時間半、ゲレンデ歩きは避けよう、ソッコー計画変更で水神コースから滑降コースで周回することに決定。この方達は北泉ヶ岳まで行くので山頂まで一緒に行きましょう！と言って頂き川沿いの樹林帯からスタート、各コースの分岐お分れ峠へ到着。

そこからいつもの傾斜のある登山道、30分ほどで水神に到着、親切にも各ポイントで待っていてくれる。写真を撮って頂き進むと傾斜がぐっと増し、大岩ゴロの道を登り上げるとそこでも待っていてくれ「これで難所は終わりですよー」ガイドさんのように親切（笑）

傾斜が緩やかになり見事な紅葉に迎えられ山頂到着。写真を撮って頂き冷たい風をよけ少し離れた樹林に囲まれた三角点で昼食。まったりしていると次々と登山者さんが到着、さてそろそろ、と腰を上げるとガイドさんは私達を待ってくれていて、地元の人しか立ち寄らないという少し先の山頂の祠へ案内してくれた。

祠の扉を開けて頂き今回の2座登頂のお礼参拝？、そして北泉ヶ岳へ向かうお二方とここでお別れ、「おかげさまで楽しい山行になりました、ありがとうございました！」とお礼を言い滑降コースで下山開始。なかなかの傾斜を下降、途中、地元の小学5年生の遠足山行100人ほどと「こんにちはー！」と口が疲れるほど次々と挨拶を交わしながら登山口へ到着。本当に地元の人に愛されている山だと実感、とても楽しい気分になりました。

船形連峰、がんばって荷物を背負って避難小屋1泊で船形山～北泉ヶ岳～泉ヶ岳まで縦走すればもっともっとその良さを堪能できたかもしれない。

3日間お疲れ様でした、ありがとうございました。

（記＆写真・峯川　弘子）